

研究課題名：

ヒト血液に含まれる新規バイオマーカー開発に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

平成 27 年 8 月 31 日～平成 32 年 3 月 31 日に当院外来へ受診または入院され、採血後に生化学検査等の臨床検査を受けられた、もしくは受けられる方

2. 研究目的・方法

目的：ヒトの疾患の状態を簡便に検出・定量するためのバイオマーカーの開発は、疾患の予防や治療、薬剤開発などにおいて極めて重要です。これまでの我々の研究により、疾患モデル動物の血漿や赤血球のタンパク質において、特徴的に形成する翻訳後修飾構造の同定に成功しています。また、これらの修飾構造に対して、質量分析装置による定量解析方法や、特異的モノクローナル抗体の樹立に成功しています。さらには、脂肪酸誘導体が疾患モデルマウスにおいて有意に減少することなども見出しています。そこで、本研究では、これまでの動物実験などの結果より得られたバイオマーカー候補物質について、実際に患者さんの検体を用いて検討を行うことにより、ヒトの疾患の評価に応用できるかを検討させていただきます。

研究期間としては、2015 年 8 月 31 日～2020 年 3 月 31 日を予定しております。

方法：廃棄される予定の残余検体を対象とします。従って本研究のため余分な試料の採取を行うことはありません。匿名化の方法として、残余検体を、別番号の付記された別容器に移し替えます。この際、過去の検査結果など検討に必要な最小限の情報を付加することがありますが、患者さんの ID 番号、氏名、生年月日、住所等個人を特定できる個人情報は一切付加せず、誰のものかわからない（連結不可能匿名化といいます）検体とします。具体的な方法としては、血液より、血漿および赤血球を分離します。その後、それぞれのタンパク質サンプルを還元処理、酸加水分解処理し、質量分析により翻訳後修飾構造を検出・定量を行います。また、翻訳後修飾構造に特異的なモノクローナル抗体を用いた ELISA および免疫ブロット法などにより、タンパク質の修飾の程度を評価します。脂肪酸誘導体の解析については、血漿を有機溶媒にて抽出した後、そのままあるいは誘導体化処理を行い、質量分析装置を用いて解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、身体情報、臨床検査値、投薬歴等、既往歴、喫煙歴 等

試料：血液、尿 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 総務課. 名古屋市昭和区鶴舞町 65. TEL:052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 検査部. 検査部長 松下正

名古屋市昭和区鶴舞町 65. TEL:052-744-2111(代表) 内線 2656